

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成30年度分)

施設名 松江海洋センター・秋鹿なぎさ公園
 指定管理者 株式会社SKSS
 担当課 スポーツ課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

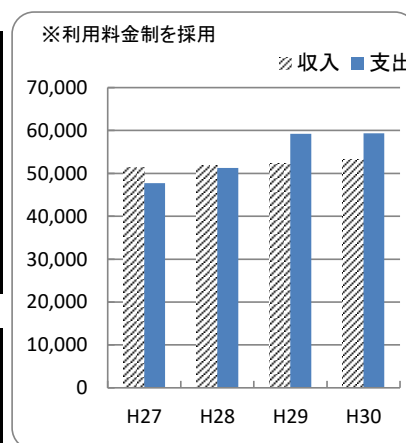
市	A	【優れていると評価した点】 (海洋センター) ○安全対策の強化や稼働率向上のため各種イベントを開催した。 ○中国ブロック大会ヨット競技において松江海洋センターが指導する海洋クラブが小・中・高校の部全てで優勝し、B&G財団より最高評価の「特A」評価と表彰された。 (秋鹿なぎさ公園) ○物品販売の少なさを情報コーナーで充実させ、「秋鹿よんさん市」の開催などで利用者満足度向上に重視し管理した。 【評価できない、または改善すべき点】 ○秋鹿なぎさ公園は、自主事業の「手ぶらでBBQ」の利用が昨年度に比べ減少したこともあり、炊事棟利用者は減少した。そのほか、研修室利用者も減少している。PR等を積極的に行う必要がある。
	指定管理者 A	【優れていると評価した点】 ○適切な人員配置を行い、設備点検を定期的に細部まで実施することで安全管理に努めた。 ○施設内設置のアンケートボックスのほかにも、定期的に利用者の意見を直接聞いたり集中アンケートを行い、対応した内容を施設内に貼り出す活動を行うことにより利用者満足度の向上を図った。 ○海洋センターにおいては、感謝祭など申請時に提案していなかった事業も引き続き開催し認知度アップに努めた。 ○なぎさ公園においては、マリンスポーツフェスタの開催時期を変更したことにより天候に恵まれ、たくさんのお客様で賑わった。 ○道の駅の機能として重要な物産販売「秋鹿よんさん市」を引き続き毎週開催し利用者満足度の向上を図った。 【評価できない、または改善すべき点】 ○施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきているため、安全面に配慮しさらに点検を強化していく必要がある。

2. 施設利用の増減について

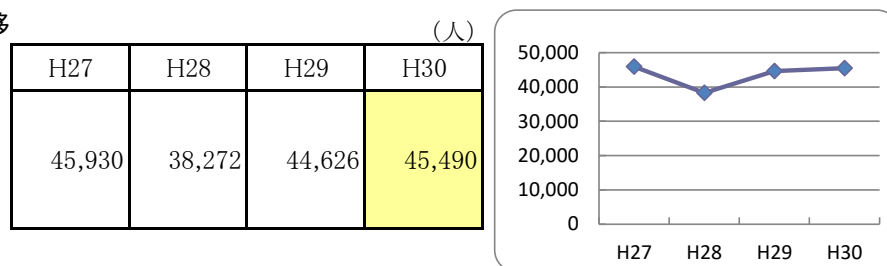
総括	○海洋センターは、自主事業のスポンジテニス教室の参加者増により、利用者数・利用料共に増加した。 ○秋鹿なぎさ公園は、炊事棟は天候不良によりキャンセルが多かったため減少した。研修室は定期利用団体が使用されなかったため減少している。舟艇は約3年ぶりとなるマリンスポーツフェスタの開催や、イベント開催が普段の利用にも繋がり、利用者数は増加した。
----	---

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H27	H28	H29	H30
施設の収支	収入	51,443	51,889	52,286	53,191
	うち指定管理料	46,099	47,400	47,400	47,400
	うち利用料	5,344	4,489	4,886	5,791
	支出	47,748	51,246	59,255	59,371
	差引	3,695	643	△ 6,969	△ 6,180
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	0	28,998	1,255	1,692
	うち市の修繕費	0	28,998	1,255	725



(2) 利用者の推移



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	海洋センター利用者数	37,000	37,400	36,745	98.2%	99.3%
	秋鹿なぎさ公園利用者数	5,700	8,950	8,745	97.7%	153.4%
	自主事業の実施数	8	12	8	66.7%	100.0%
アウトカム	生涯スポーツ推進事業の参加者数	6,000	8,490	6,029		
	達成度平均				87.5%	117.6%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ○海洋センターはよりたくさんの市民に施設を知っていただけるよう感謝祭の開催やターゲットを絞った教室を継続して複数開催した。各事業の質の向上も図った。 ○なぎさ公園は自主事業で開催している手ぶらでBBQや物産販売「秋鹿よんさん市」が施設の機能を果たし認知度が上がってきている。	【達成度の原因・分析】 ○両施設とも継続して行っている事業の見直しを図ったり、新たな企画を行ったりしており、利用者の満足度向上に努めている。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
19件	①満足している 13件(68%) ②どちらともいえない 0件(0%) ③満足していない 6件(32%)	①良い 特になし ②苦情 ・体育館窓を開けると虫が入ってくる→網戸設置箇所を増やすことを検討。 ③要望 特になし

(4)住民サービス向上の事例

- 地元特産品販売の実施(なぎさ公園)
- 地元クリーン活動の実施・参加(海洋センター)

3. 自主事業

総括	○両施設とも継続して行っている事業が定着しつつある。 ○また新たに事業を企画したりと利用者の満足度向上に努めている。 ○今まで以上にPRを図り、利用者数増加・満足度向上を図ってもらいたい。
実施状況	○松江海洋センターでは、小学生を対象としたなつやすみマリン教室や、フットサル交流会、ソフトテニス交流会をはじめ、学童軟式野球大会など各種スポーツイベントを開催した。秋には市民向けに無料スポーツ体験やカヌー体験ができる感謝祭を実施し、新規需要の獲得に努めた。 ○秋鹿なぎさ公園では定期的な地元特産品の販売市「秋鹿よんさん市」をはじめ、手軽にBBQを楽しめる「手ぶらでBBQ」を継続して行った。

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

- 海洋センターは稼働率アップのためホームページの充実やパンフレットを活用したPR活動を積極的に行っていく。また公民館など地域との連携を強化し、自治会や子供会等へ直接営業活動を行っていく。
- 秋鹿なぎさ公園は、現在の事業を継続しながらも、利用者のニーズや時代の変化を受け止め、利用者の満足度向上につながるようレベルアップを図っていく。